

## 華 第2回神岡花街夢祭り やかな花魁道中 花街の歴史を伝える

11月9日(土) 神岡町市街地・船津座

神岡に花街があった歴史を後世に伝える「第2回神岡花街夢祭り」が神岡町市街地で行われました。

この日は、遊郭で位の高い遊女「花魁」が客の元へ向う行列を再現した「花魁道中」が行われ、華やかな振り袖姿の子どもたち「禿」、絢爛豪華な着物が着飾った遊女「新造」、「花魁」や傘持ちの男衆ら約40人が町内を練り歩き、通りには花魁道中を一目見ようと、多くの見物客が詰めかけました。

船津座では、神岡江戸木遣保存会による江戸木遣やパレエの舞台、日本舞踊も行われ、訪れた見物客を沸かせました。



市街地を練り歩く花魁道中

## 飛 飛騨市推奨特産品認定証交付式 驒市の特産品を認定

11月5日(火) 市役所

飛騨市推奨特産品認定証交付式が5日、市役所で行われ、市内事業者の飛騨産 いのちのぞ 特別栽培米、飛騨地鶏けいちゃん、実さんしょうの3商品が認定され、認定された推奨特産品は全部で23商品となりました。

この認定制度は、市内の特産品をより広くPRするため創設された制度で、認定された商品は組木をイメージしたロゴシールを貼り付けし、差別化を図っていきます。また、各地で行われる市の販売プロモーションに出品する予定です。

都竹市長は「推奨特産品に認定することで商品のレベルアップのきっかけになれば」とあいさつしました。



認定証を手にする事業者の皆さん

## 古 第1回市ノルディックウォーキングフェスタ 川の町並みをウォーキングで楽しむ

11月10日(日) 古川町市街地

市民有志でつくる「飛騨市ノルディックウォーキング研究会」主催の「第1回飛騨市ノルディックウォーキングフェスタ」が10日、ハートピア古川を発着点に行われ、市内外の約70人がウォーキングを楽しみました。

ノルディックウォーキングは、2本のポールを使って歩くスポーツで、全身を使って手軽で効果的に運動することができ、人気が高まっているスポーツです。

この日は、3キロと5キロのコースに分かれて出発。参加者はさわやかな秋晴れの中、ポールを前後に動かしながら気多若宮神社や瀬戸川など町内を散策し、秋の風景や古川の町並みを堪能しました。



ノルディックウォーキングを楽しむ参加者

## 郷 神岡小学校が江馬氏館跡公園で土堀修復作業 土の歴史や文化財の大切さを学ぶ

11月7日(木) 神岡町 江馬氏館跡公園

神岡小学校の6年生42人が7日、神岡町の江馬氏館跡公園で江馬氏館跡の見学と土堀修復作業を体験しました。

館跡の見学では、庭園の見える接客の間で、室町時代の眺めと変わらない庭園を眺めながら、市教育委員会の大下学芸員から江馬氏の歴史や文化財の大切さなどについての話を聞きました。

また、一部剥がれ落ちた土堀の修復作業体験では、児童らは水で練った土を板の上に乗せてもらい、左官工事用のコテを使って土堀に丁寧に土を塗る体験も行われました。



土堀に丁寧に土を塗る児童

## 百 板倉チヨさん百歳褒賞 歳おめでとうございます

11月12日（火） 老人保健施設たかはら

神岡町殿の板倉チヨさんが12日、百歳を迎えられました。これに合わせ、市民福祉部の柚原部長らが施設に訪問し、賞状やお祝いの花束などを板倉さんに渡しました。

柚原部長は「百歳おめでとうございます。これからも健康でお元気でいてください」とお祝いの言葉を贈りました。

この日は、ご家族や入居している施設の方々が集まり、板倉さんの百歳をお祝いました。

ご家族の板倉正志さんは、「百歳まで生きるというのは大変なこと。長生きしてくれて感謝しています」と話してくれました。



花束を手に記念撮影

## 市 飛騨市消防本部が文化財の緊急点検 内文化財防火対策万全

11月11日（月） 神岡町内文化財

那覇市の首里城や白川郷で起きた火災を受け、市消防本部と市教育委員会が市内文化財等の緊急防火点検を行いました。

点検では、市消防本部と市教育委員会職員4人が神岡町にある国重要文化財「薬師堂」、県重要有形民俗文化財「旧松葉家」や国史跡および国名勝「江馬氏館跡公園」の3カ所の消火器や消火栓、火災報知器などについて点検を行い、消火器の必要数量や火災報知器の場所、緊急時の避難経路や防災訓練の実施の有無などについて、それぞれの建物の管理者に確認を行い、各建物での異常がないことを確認しました。



消火器などの点検を行う職員ら

## み 古川西小学校でみだらし団子焼き体験 みだらし団子おいしく焼けたよ

11月13日（水） 古川西小学校

古川西小学校の2年生児童55人が13日、ふるさと学習でみだらし団子焼きに挑戦しました。

この授業は、古川町中野でみだらし団子などを販売している花桃屋の中齋照男さんと君子さんを講師に招き毎年行っている授業で今年で5年目になりました。

児童らは、各自2本ずつ団子の串をガスコンロにのせ、中齋さんに教えてもらいながら、串をくるくると回したり、焦げ目がついたところで醤油を2度漬けたりして慎重に焼きました。

児童は「自分で作った団子はとてもおいしかった」と楽しそうに話してくれました。



丁寧に団子を焼く児童ら

## 環 古川小学校で日産わくわくエコスクール 環境と電気自動車の関連学ぶ

11月11日（月） 古川小学校

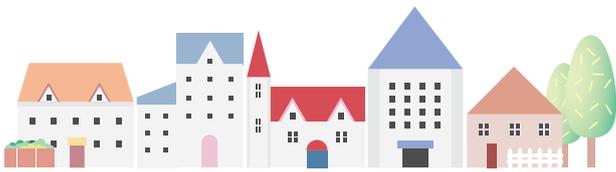
日産わくわくエコスクールが11日、古川小学校で行われ、同校の5年生81人が環境問題や電気自動車の仕組み、環境技術について学びました。

この日は、日産自動車（株）の技術者や社員らが講師として訪れ、地球温暖化の原因、リスクの紹介やなぜ電気自動車が必要なのか、一人ひとりができる省エネの方法を説明しました。

また、電気自動車のモデルカー（模型）を使った実験や電気自動車の車両見学、試乗も行われ、児童らは電気自動車の仕組みや特性、ガソリン車との違いなどを体験しました。



電気自動車の説明を聞く児童ら



飛騨市

Facebook 公式アカウント

飛騨市役所

まちの話題に掲載しきれないイベントや写真は市の公式Facebookで配信中。



## 食品ロス削減推進標語表彰式・キャラバン隊任命式 食品ロスの削減に取り組む

11月23日（土） 市役所、市内飲食店・スーパー

食品ロス削減推進標語の表彰式とキャラバン隊任命式が市役所で開かれ、古川小学校の4年生6人が参加しました。

この取り組みは、今年5月に市内のごみ処理施設の見学に参加した児童から食品ロス削減標語を募集。優秀な標語を作成した7人の表彰と食品ロス削減啓発活動のキャラバン隊に任命するものです。

この日は、市役所で表彰式とキャラバン隊の任命式があり、湯之下副市長から賞状と任命証が手渡されました。式典の後、児童らは市内の飲食店やスーパーへ移動し、食品ロス削減啓発ポスターなどを配布しました。



賞状を手にする児童ら

## 下垣内かゝるさんが百歳褒賞 百歳おめでとうございます

11月15日（金） 特別養護老人ホーム たんぽぽ苑

神岡町東町の下垣内かゝるさんが15日、百歳を迎えられました。これに合わせ、市民福祉部の柚原部長らが施設に訪問し、祝金やお祝いの花束を下垣内さんに渡しました。

柚原部長は「百歳おめでとうございます。これからも健康でお元気でいてください」とお祝いの言葉を贈りました。

この日は、ご家族や入居している施設の方々が集まり、下垣内さんの百歳をお祝いました。

ご家族は、「家族の誇りで、自慢の母です。これからも元気でいてほしいです」と話してくれました。



花束を手記念撮影

## 市内の砂防堰堤が登録有形文化財に 岐阜県が六郎谷に記念碑を設置

11月24日（日） 神岡町東町 六郎谷砂防堰堤

神岡町の六郎谷、宮川町の小豆沢と桑谷の砂防堰堤が登録有形文化財に指定されたことを受け、県が六郎谷に記念碑を設置し、24日にお披露目式が行われました。

それぞれの堰堤は約100年前に設置され、地域住民を自然災害から守ってきました。それに加え、六郎谷砂防堰堤群については、川下の神岡鉦山中核域を土砂災害から守り、近代日本の重工業化を支えた砂防施設です。

式典には、都竹市長や国土交通省神通川水系砂防事務所の浅井誠二事務所長など関係者ら約30人が出席し、文化庁調査官の江島祐輔氏から文化財登録に至る経緯などの説明が行われた後、テープカットが行われました。



関係者によるテープカット

## 飛騨神岡高校で都竹市長による人権講話 高校生が人権について理解を深める

11月22日（金） 飛騨神岡高校

高校生が人権について考える授業が22日、飛騨神岡高校で行われ、全校生徒194人が参加しました。

この日は、市でさまざまな人権の取り組みを進めている都竹市長が講師を務め、「人権」をテーマに、日本国憲法の条文を挙げながら、性差別や外国人への差別など人権問題が国内に多く残っていることを紹介。

また、重度の知的障害がある次男の子育てについても触れ、悩みを共有できる仲間や、笑顔で支えてくれる人の存在、誰にでも平等に接することの大切さを生徒に伝え、「人には強み、弱みがある。小さな進歩や強みを認めあう社会をつくっていくことが大切」と話しました。



生徒らに人権について話す都竹市長